

まちづくりミーティング要旨

1. 団体等の名称 東海学院大学、東海学院大学短期大学部
2. 日 時 令和元年 12 月 13 日（金） 16 時 30 分～18 時 00 分
3. 場 所 市役所本庁舎 3 階特別会議室
4. 出 席 者 <参加団体>11 名 <市> 市長
5. テ ー マ ①スポーツに力を入れたまちづくり
②子どもの教育と子育て
③各務原にんじん産学官連携事業
④各地元企業と学生の関わり
⑤その他

テーマ①：スポーツに力を入れたまちづくり

【参加者】 昨年の夏に起きた金農旋風からスポーツの持つ力は計り知れないと感じました。そこでスポーツを活用し、地方都市の活性化を図ってはいかがでしょうか。

【市長】 ホッケーをはじめとした様々なスポーツを活用して、各務原市に足を運んでいただけるよう尽力していきたいと思ひます。

【参加者】 私は小学生のころからホッケーをしています。おもしろい競技ですが、認知度が低いと感じることがあります。もっとホッケーを身近に感じてもらえるような環境作りをしたら良いと思ひます。

【市長】 2020 年 4 月に川崎重工ホッケースタジアムでホッケージュニアワールドカップ女子アジア予選が開催されます。そして夏には東京オリンピックの開催も控えています。ホッケーは世界的に注目されているスポーツであり、2020 年はより脚光を浴びると思うので、今後も力を入れていきます。

【参加者】 スポーツを通して様々な人と良好な交流を図れると思うので、高齢者や重度の障がいのある方もスポーツに参加できるよう推し進めると良いと思ひます。

【市長】 スポーツは気軽にコミュニケーションがとれる手段だと思ひます。新たな総合体育館の建設を検討しているので、高齢者や障がいのある方にも配慮した施設を目指したいと思ひます。

テーマ②：子どもの教育と子育て

【参加者】 障がいのある子どもとない子どもが共に過ごせる社会を目指すためにインクルーシブ教育を行ってほしいです。

【市長】 障がいのある子どもとない子どもが生活を共にすることで、互いに良い効果をもたらすと思ひます。子どもだけでなく地域の人たちともふれあえる環境づくりをしていきたいと思ひます。

【参加者】 子どもが健康に成長するためには外で遊ぶことが重要だと思ひるので、公園など子どもが遊べる場所が増えると良いと思ひます。

【市長】 平成 30 年度時点の各務原市の一人当たり公園面積は 16.05 m²/人、全国平均は 10.5 m²/人と平均大きく上回っています。今後もより多くのお子さんに集まっていただける場所を創出できるように、まちの賑わいづくりの一環として来年度から学びの森と市民公園の間の駐車場で、民間のノウハウを生かし常設のマーケット日和をイメージした整備を行う予定です。

【参加者】 近年、社会環境の変化により地域との繋がりが希薄化していると思ひます。問題が生じた際にすぐに手を差し伸べられるように、育児相談や地域交流ができる場所を増やすと良いと思ひます。

【市長】市内の子ども館では毎月地域と交流できるイベントを実施しています。また、教育センターの相談事務や、お宅に訪問して困りごとに対応するなど、親の負担を減らす取り組みも行っております。

テーマ③：各務原にんじん産学官連携事業

【参加者】大学の畑で野菜を育てているため、各務原にんじんに興味があります。各務原市と宇宙の繋がりは深いと思うので、にんじんの種を宇宙に飛ばして各務原宇宙にんじんとして販売したり、お土産用の宇宙食を開発したりして、宇宙とにんじんで観光化を進めていただきたいです。

【市長】にんじんの種について、実際に形になればまた一つの強みになると思うので、機会あるごとに協力いただければそのような企業にお話させていただきます。今後の活動にも期待しておりますので、その試みを後輩の方に引き継いでいただきたいです。

テーマ④：各地元企業と学生の関わり

【参加者】高校生と大学生と一緒にインターンシップや見学会に参加することによって新たな考え方や地元企業への就職意欲が生まれると思います。

【市長】地域で育った子には地域で就職してほしいという思いから、小学生から参加できる市内企業のものづくり見学事業を実施しています。小中高大と切れ目なく地元企業を訪問できるような環境づくりを行い、今後も先を見た就業支援を行いたいです。

テーマ⑤：その他

【参加者】若い方から年配の方まで幅広い世代の方が交流できる機会があると良いと思います。

【市長】地域と地域、人と人といった繋がりでなく、世代間を超えた繋がりも必要だと思うので、やりたいことをマッチングしていくような繋がりづくりを今後は実施したいと思います。

【参加者】持続可能な環境都市を目指して、共に環境保全について地域に発信したいです。

【市長】環境問題は世界的な問題ですが、まずは一市民としてできることのきっかけづくりをこれから行いたいです。すでに様々な活動を行っているということなので、今後の活動も期待しています。

【参加者】有志で集まりフレイル予防のためのおやつ開発を始めています。日頃健康に関心の低い人でも気軽に、楽しみながら参加できるフレイル予防で健康長寿のまちになってほしいです。

【市長】現在、各務原版フレイル予防をスタートするための準備をしています。おやつ開発を行っているということなので、今後ご協力いただけたらと思います。

【参加者まとめの言葉】私たちは日々大学の所在地である各務原市に通っていますが、知っているようで知らないことがあることに気づきました。

このまちづくりミーティングで意見交換をすることによって、市政を身近に感じることができました。今後はお世話になっている各務原市に恩返しができることがあれば、積極的に行動していきたいです。

【市長まとめの言葉】市内外関わらず、ぜひ一度自分のまちを振り返ってみてください。これから社会に出た際に今の自分に何ができるのか、どんなものがあってどのように活用ができるのかということは早めに知っておいたほうが良いと思います。

行政の役割は段々と変化しているので、皆さんの柔軟な意見は非常に重要だと思います。

各務原市の施策に着目していただくと皆さんのこれからの生活に楽しみが出ると思うので、今後も尽力していきたいと思っています。